

課・タイトル	L4 まいにちすることをはなす
ねらい	日常生活ですること、したことを伝えたり、聞いたりすることができる。

パート	L4-1
できること	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活でしていることを言うことができる。 ・何時にするか、何時から何時までするかを言うことができる。
場面設定	学生が通学途中で先生に会って、話しながら学校へ行きます。学生は毎朝していることを先生に話します。
場面会話	<p>用意するもの</p> <p>なし</p> <p>指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時計がいくつか出ています。始めに、それぞれ、何時か、だれが何をする時刻か、を確認してください。 ・歩きながら話しているところですから、場面会話の絵のように横並びになって会話をします。 ・学習者は自分のかばんを持って、会話をします。
練習1	<p>用意するもの</p> <p>テキスト p.82①, p.83①③の動詞の絵カード数組、時計の模型(針が自由に動かせるもの)、カレンダー</p> <p>動詞「～ます」</p> <p>テキスト p.82①</p> <p>まず、場面会話内の吹き出しに注目させ、2コマ目「起きます」、3コマ目「ジョギングします」「シャワーを浴びます」、4コマ目「勉強します」を言わせませ。次に p.82①の他の動詞の絵カードを見せて、動詞を導入します。絵カードを見ながらコーラスで数回言ったあと、学習者を2～4名のグループに分け、各グループに動詞の絵カードを渡します。グループ内の学習者同士で絵カードを見て動詞を言う練習をします。</p> <p>「これからなにをしますか。」-「名詞を～ます。」</p> <p>テキスト p.82①①</p> <p>まず場面会話の4コマ目を見せて、ラマさんを指し、「わたしはこれから9時まで勉強します。」と言わせませ。その後、学習者に向かって「みなさんはこれから何をしますか」と聞きます。学生は「勉強します」と答えるでしょう。続いて、授業が終わる時間を時計で示して、「では、今4時30分です。これから何をしますか。」と聞きます。学生は「帰ります。」と答えます。同様に、学習者に模型の時計を使って時刻を示し、何をするか言わせませ。その後で、p.82①①の絵を見せてモデル会話を言わせた後、1)～5)の代入練習をします。</p> <p>テキスト p.82①②</p> <p>3人組になって、会話をします。②の会話ができたら、次は自分がすることを言い合うといいでしょう。</p> <p>「まいにちなんじに～ますか。」-「時刻です。」</p> <p>テキスト p.83①③</p> <p>場面会話の2コマ目のセリフを言わせた後、学習者に「みなさんは何時に起きますか。」と聞きます。続いて、「何時に寝ますか」「何時に学校へ行きますか。」「何時に帰りますか。」と聞きます。その後で、③のモデル会話を見せて、「毎日何時に会社へ行きますか。」-「8時です。」と言わせませ。1)～4)の代入練習の後、学習者同士で起床、就寝、帰宅、食事など、基本的な行動の時刻を聞いたり、答えたりさせ</p>

	<p>ます。</p> <p>「あしたはなにをしますか。」-「ごぜんは～ます。ごごは～ます。」</p> <p>テキスト p.83④</p> <p>カレンダー上で「今日」と「あした」の日付を示します。明日の日付を示しながら、学習者に「明日何をしますか。」と聞きます。その後で、p.83④の絵カードを見せて、テキストの会話をさせます。絵カード内の時間軸を示して、「午前」「午後」を導入し、絵を見て何をするかを言わせます。④の会話ができれば、学習者同士で明日何をするか互いに聞き合います。</p>
<p>練習2</p>	<p>用意するもの</p> <p>時計の模型(針が自由に動かせるもの)2つ</p> <p>「名詞はなんじからなんじまでですか。」-「時刻から時刻までです。」</p> <p>テキスト p.83,84①～③</p> <p>場面会話の3コマ目を見せて、ラマさんの吹き出しを示して「6時から7時までジョギングをします。」と言わせます。続いて、「みなさん、授業は？」と聞き、授業の時間を言わせます。仕事やアルバイト、授業が何時から何時まであるか、郵便局やデパートや店などが何時から何時まで開いているかを聞いたり答えたりします。</p> <p>②は曜日、③は日付で答える練習です。</p> <p>①～③の会話ができれば、さらに、自分のことや、自分の国の学校や店、施設などの時間や期間を聞き合うといいでしょう。</p>
<p>練習3</p>	<p>用意するもの</p> <p>カレンダー</p> <p>「わたしはまいしゅう～ます。」</p> <p>「どこで～ますか。」-「場所で～ます。」</p> <p>「しゅうまつなにをしますか。」</p> <p>テキスト p.84①②</p> <p>カレンダーを見せて、「毎週」を導入します。その後、p.84③のモデル会話の絵を見せて、会話をさせます。続いて、学習者に「みなさんは毎週何をしますか。」と聞き、日常生活で毎週決まってること、その場所を言わせます。その後、p.84①の代入練習をします。</p> <p>次にカレンダーを見せて、「週末」を導入します。②の絵を見せて、学習者同士で毎週末何をするかを言う練習をします。続けて、カレンダーを使って、「毎月」「毎年(まいねん・まいとし)」を導入し、毎月すること、毎年することを聞き合うといいでしょう。</p> <p>例:毎月家賃を払います。</p> <p>(カレンダーの8月を示しながら、)毎年海へ行きます。</p> <p>(自分の誕生日を示して、)毎年パーティーをします。</p>
<p>はなしましょう</p>	<p>用意するもの</p> <p>なし</p> <p>できますか?</p> <p>朝8時15分に中村さんが会社へ行くと、もうりさんが来ていて、コーヒーを飲んでいます。中村さんはりさんに何時に会社へ来るか、聞きます。りさんが朝7時に来て、1時間日本語を勉強してから、朝ご飯を食</p>

	<p>べると聞いて、びっくりします。その後、中村さんは「じゃあ、またあとで」と言って、自分の席へ行きます。</p> <p>これでもできますか</p> <p>学習者同士で、休みの日に何をしているか、互いに聞き合ってください。</p>
--	--

パート	L4-2
できること	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活でしたことを言うことができる。 ・だれがしたか、だれのものか、聞いたり、言ったりすることができる。
場面設定	会社の昼休みです。お弁当を食べながら、井上さんとりさんが話します。
場面会話	<p>用意するもの</p> <p>弁当箱 2 つ、家族の図 (p.206¹が利用可)</p> <p>必要であれば、手紙とメールの絵、馬に乗っている人と車に乗っている人の絵</p> <p>指導のポイント</p> <p>「母」「今」「まえ」は絵やジェスチャーではわかりにくいので、始めに絵を確認しているときに簡単に意味を伝えます。「母」は家族の図の「母」を示し、「はは」と板書するか、文字カードで見せて、ボードに貼っておきます。「今」「まえ」は共通語で意味を伝えてもいいですし、「今何時ですか。」と聞いて時刻を言わせたり、手紙とメールの絵を見せて、「まえは手紙を書きました。今はメールを書きます。」、馬に乗って移動する人の絵と車に乗っている人の絵を見せて、「まえは馬です。今は車です。」と言わせたりして、意味を伝えてもいいでしょう。</p>
練習1	<p>用意するもの</p> <p>カレンダー、テキスト p.82¹、p.83¹③、p.88¹の動詞の絵カード数組、2種類の動詞のフラッシュカード数組 (1. カードの表に現在肯定形「～ます」、裏に過去肯定形「～ました」と書いたもの。例: かきます / かきました 2. カードの表に現在否定形「～ません」、裏に過去否定形「～ませんでした」と書いたもの。例: かきません / かきませんでした)</p> <p>「きのう～ましたか。」-「はい、～ました。」 / 「いいえ、～ませんでした。」</p> <p>テキスト p.88¹①</p> <p>場面会話の2コマ目を見せて、「だれが～りましたか。」「私が～りました。」と言わせ、そのセリフを書いたカードを見せたり、絵にセリフの入れたりして、文字を見て確認させます。セリフの中の「～りました」の「ま</p> <p>ました」に色をつけて、注目させます。続いて、「～ります」と「～りました」の文字カードを並べてボードに貼ります。カレンダーの今日の日付を指して「きょう」、前日を指して「きのう」、翌日を指して「あした」と言い、「きのう～りました」「あした～ります」と言います。同様にカレンダーを指しながら、「食べます」の絵を見せて、「きのう食べました」「あした食べます」と言わせます。続いて、学習者に「今朝朝ご飯を食べましたか。」「今朝朝コーヒーを飲みましたか。」「きのうテレビを見ましたか。」のように質問をして、意味が理解できているかどうか確認をします。その後、動詞の絵カードを見せて、「～ます」「～ました」の変換をさせます。さらに、グループごとに絵カードを渡して、学習者同士で変換する練習をさせます。</p> <p>p.88¹①のモデル会話の絵を見て、「しましたか。」「しました。」「しませんでした。」を言った後、1)～4)の絵を見せて代入させます。その後、動詞の絵カードを見せて、「～ます」「～ました」の変換をして言わせ</p> <p>ます。2, 3回全員で練習した後、グループごとに絵カードを渡して、学習者同士で変換する練習をさせま</p> <p>す。</p>

	<p>さらに、反射的に言えるように、フラッシュカードで練習します。フラッシュカードの表の「～ます」を見せて「～ました」と言わせたら、カードの裏を見せて「～ました」を確認させます。始めはゆっくり進めますが、だんだん速くカードをめくって、速く言わせるようにします。これも、絵カード同様、グループに分けて学習者同士で練習させます。</p> <p>続いて、「～ました」から「～ませんでした」を言う練習を同様に行います。</p> <p>最後にもう一度1)～4)の絵を見せて、代入練習をします。すらすら言えるように練習します。</p> <p>テキスト p.88 ①②③</p> <p>「～ました」「～ませんでした」が言えるようになったら、②③のイラストを見て、会話をします。③はお土産の箱を渡すところから会話を始めます。</p>
<p>練習2</p>	<p>用意するもの</p> <p>紙とマーカー(人数分)</p> <p>「だれが～ましたか。」-「人が～ました。」</p> <p>テキスト p.89 ①～③</p> <p>場面会話の2コマ目、3コマ目を見せて、セリフを言わせませす。続いて、学習者の持ち物(例えば、かばん)を指して、「いいかばんですね。どこで買いましたか。」と聞きます。さらに、紙を配って絵(例えば、犬の絵)をかかせませす。かけたら、絵をボードに貼って、学習者に「だれがかきましたか。」と聞かせ、「○さんがかきました。」と答えさせませす。その後で、p.89 ②①のモデル会話の絵を見せて会話をさせ、1)～4)の代入練習をします。②③は絵を見ながら、気持ちを入れて演じて発話するように指示します。</p>
<p>練習3</p>	<p>用意するもの</p> <p>靴1足(男性用、女性用どちらでも可)</p> <p>「これ、だれの物ですか。」-「人のじゃありません。」「人のです。」</p> <p>テキスト p.90 ①②</p> <p>場面会話の1コマ目の絵を見せて、セリフを言わせませす。続いて、学習者の持ち物を指して、「だれのですか。」と聞き、持ち主に「私のです。」、または、持ち主以外の学習者に「○○さんのです。」と答えさせませす。続いて、p.90 ③①のモデル会話の絵を見せて、動作をしながら会話をさせませす。1)～3)の会話もさせませす。さらに、②の絵を見せて会話をさせませした後、実際に靴を使って、同様の会話をさせませす。客の役の学習者は出された靴が自分の靴ではないと言い、自分の靴の色を言います。</p>
<p>はなしましょう</p>	<p>用意するもの</p> <p>写真数枚</p> <p>できますか？</p> <p>机の上に写真が並んでいます。キムさんが見て、だれが撮ったかタンさんに聞きます。タンさんが自分が撮ったと答えると、キムさんはいつ撮ったかと聞きます。タンさんは休みの日に撮ったと答えます。最後に、タンさんもキムさんに休みの日何をするか聞きます。</p> <p>じゆうにはなしましょう</p> <p>先週の日曜日何をしたか、お互いに聞き合います。</p>

パート	L4-3
できること	<p>・他の人といっしょに作業をするとき、自分が何をするか伝えることができる。</p> <p>・道具がどこにあるか聞いたり、言ったりすることができる。</p>
場面設定	<p>会社の昼休みです。今日はりさんが餃子を作ってきて、中村さんと井上さんにふるまいます。りさんは、今度の土曜日にいっしょに餃子を作らないかと二人を誘います。</p> <p>土曜日、3人はりさんの寮のキッチンで餃子を作ります。それぞれ手分けして作業をします。</p>
場面会話	<p>用意するもの</p> <p>エプロン3枚、餃子（絵など）が入っている箱、包丁（おもちゃ、あるいは厚紙などで作ったもの）、引き出し用の箱、切れたキャベツ（紙片など）</p> <p>指導のポイント</p> <p>引き出しは中村さん役の学習者の近くに設定します。りさんと井上さん役の学習者は、中村さん役の学習者から少し離れたところに立って、餃子の皮をつくるために粉をこねる振りをします。</p>
練習1	<p>用意するもの</p> <p>テキスト p.82¹, p.88¹③の動詞の絵カード1組</p> <p>「わたしは～ます。」</p> <p>テキスト p.94¹①</p> <p>他の人といっしょに作業をするとき、自分が何をするかを伝えるときの言い方を練習します。</p> <p>場面会話の3コマ目の絵を見せて、「わたし私は野菜を切りますね。」を言わせませす。続いて、実際に学習者を動かして自分のすることを言わせませす。例えば、「みなさん、これから机と椅子を運びます。Aさん机をお願いします。Bさん椅子をお願いします。」と言って、指名します。指名された学習者には「わかりました。私は机を運びます。」「私は椅子を運びます。」と言わせませす。さらに、「今日、〇時に授業が終わります。私はホワイトボードを消します。だれか電気をお願いします。」と言って、授業を終えたときにすることの担当者を募ります。申し出てくれた人に「私は～ます。」と言わせませす。その後で、p.94¹①の絵を見せて、「この人は何をしますか。」と問いかけて、A、Bの人物がすることを確認させた後、モデル会話を言わせませす。続いて、1)2)の代入練習をします。</p>
練習2	<p>用意するもの</p> <p>マーカー、箱、ボール5つ（色が違うもの）、本棚・電気スタンド・椅子・植木鉢の絵（グループ数分）</p> <p>「どこにありますか。」-「家具・物の位置詞にあります。」</p> <p>テキスト p.95²①～④</p> <p>位置詞: うえ・した・よこ・みぎ・ひだり・そと・なか</p> <p>まずマーカーを箱の中に入れて、その箱を学習者の近くに置いておきます。場面会話4コマ目を見せて、セリフを言わせませす。続いて、学習者に「あれ、マーカーはどこにありますか。」と言い、探すふりをして、学習者に「はこの中にあります。」と言わせませす。さらに、「〇〇さんのかばんはどこにありますか。」「△△さんの教科書はどこにありますか。」など学習者に聞き、位置詞を使って答えさせませす。その後、用意した箱とボールを使って「中」「外」を導入します。学習者が言えるようになったら、続いて、机とボールを使って「上」「下」を導入します。その後、机の上に3つのボールを並べて「横」「右」「左」を導入します。違う色のボールを使って、「青は、赤の右です。」「緑は赤の左です。」のように言わせて、練習します。その後、p.95²①の絵を見せて、卓上カレンダー、カメラ、はさみ、箱、めがねを見せて、どこにあるかをいっしょに確認し、</p>

	<p>「～はどこにありますか。」「～の～にあります。」と言わせます。その後、学習者の持ち物を使って、グループで位置詞がすらすら言えるように練習をします。例:「Aさんのかばんはどこにありますか。」「Bさんのかばんの右にあります。」</p> <p>最後にもう一度①の絵を見せて、カレンダーや1)～4)がどこにあるかがすらすら言えるように練習をします。</p> <p>②は、本屋でレジの横に日本語の本が置いてあります。レジから離れたところで客が店員に聞きます。</p> <p>③は、体育館でAがBにバスケットボールの場所を聞いています。二人から少し離れたところにバスケットボールが入っているかごがあります。</p> <p>④は、引っ越しの荷物を新しい部屋に入れてあります。Aは運送屋の人、Bは引っ越しをする人です。テキストの会話ができたら、2～4名のグループに分かれて、④の絵、本棚の絵、スタンドの絵、椅子の絵、植木鉢の絵を使って、互いに置く場所を指示し、そのように置く練習をさせるといいでしょう。</p>
<p>はなしましょう</p>	<p>用意するもの</p> <p>ごみ袋、引き出し用の箱</p> <p>できますか？</p> <p>タンさんがラマさんの部屋に遊びに行って、カレーをごちそうになります。ラマさんはいつも作っていると言い、今度の土曜日いっしょに作らないかとタンさんを誘います。土曜日、タンさんはラマさんの住んでいるシェアハウスへ行って、ラマさんの友だちもいっしょに3人で手分けしてカレーを作ります。</p> <p>これもできますか？</p> <p>パーティーが終わったところです。AとBは片付けをします。互いに何をするかを言います。Aがゴミ袋がどこにあるかBに聞いたので、BがAの近くにある引き出しにあると教えています。</p>
<p>アクティビティ</p> <p>一</p>	<p>用意するもの</p> <p>くわたしのいちにち>の部分を書く紙またはミニホワイトボード</p> <p>いいましょう</p> <p>くいのうえさんのいちにち>を見て、井上さんが何時に何をするかを確認します。その後、井上さんの一日を参考に自分の一日を書きます。書き終わったら、4人のグループになり、自分の一日を発表します。</p> <p>発表の前に、井上さんの一日をモデルにして発表の仕方を練習します。まず、くいのうえさんのいちにち>を見ながら、学習者に自分なりに言わせてみます。その後、p98「いいましょう」の井上さん(眼鏡をかけた人物)が話している絵と吹き出しを見せながら、セリフを教師が言って、学習者にリピートさせます。言い方がわかったら、同じグループ内でペアになって自分の一日を言う練習をします。言えるようになったら、グループで発表します。最後に、クラス全体で数名発表をさせます。</p> <p>しつもんしましょう</p> <p>ペアになって、毎日することを互いに聞き合います。続けて、「かきましょう」の活動に入ります。</p>
<p>よみましょう</p>	<p>指導のポイント</p> <p>サリさん宛のメールと、その返信です。読み始める前に、この文章がメールであることを確認してください。しかし、学習者自身の力で読むトレーニングをするために、だれがだれに書いたかなどには触れずに、まず自分で読むように指示します。自分で読んでわかったことを学習者同士で話し合い、それをクラス全体で発表し合います。教師は最後のまとめのフィードバックまでは何も言わずに学習者同士の活動を見守ります。</p>

かきましよう	指導のポイント アクティビティーの「いいましよう」「しつもんしましよう」で話したことを書きます。アクティビティーに続けて行ってください。
---------------	--